

新年明けましておめでとうございます
本年もよろしくお祈り致します



12月26日～27日千葉民医連 医学部奨学生ミーティング 『女性医師のキャリアアップ』を開催しました！ ♪医学生が10名参加♪



12月の奨学生ミーティングには12月26日(月)27日(火)両日で10名の医学生が参加しました。奨学生が友人を誘って参加するなど、奨学生以外の医学生も4名が参加してくれ、今までにない広がりのある奨学生会議となりました。



今回のテーマは、「女性医師のキャリアアップについて」。奨学生の一人が入試の時に「出産後も仕事をつづけるか？」と質問されたことなど、日頃から疑問を感じていたこと、「子育てなどのライフイベントと仕事の両立について悩んでいる女子学生が多い」と感じた事がきっかけです。

多くの学生が参加してくれました！

一日目最初は元首都圏青年ユニオンの委員長である神部紅さんから「若者の貧困」「ブラックバイト」の実態などについてのお話。フルタイム労働者の賃金を100とすると、女性の賃金は39という衝撃の事実も語られました。中でも、「新しい働き方、生き方を作る運動の重要性」「仲間を増やして声を上げていくことで世の中は変えられる」という言葉が印象的で、学生にとっても心に響いていた様子でした。



続いては医学生2名からプレゼンテーションと船橋二和病院大前先生と鎌田先生を交えての懇談。学生の質問に対して、「子育てをしながらの研修や勤務継続が可能だったのは、周りの先生の理解と協力が大きい」「キャリアの中断というが、専門医取得だけがキャリアとは限らない」「やりたい医療が明確であれば、育児と仕事の両立は何とかなると思う。」「子どもがいたからこそ仕事を続けられたと思う。」など実体験が話されました。

その後は、男女に分かれてディスカッションや夜の交流会を通して感想や意見を交換し、翌日のお昼まで、「女性医師が働き続けるための解決策について」活発な議論が交わされました。

女子学生の「医師の働き方」に対する不安の大きさを感じたとともに、男子学生からも「自分のキャリアを考えるきっかけになった」などの感想が出され、疑問や悩みをみんなで共有して考えること、一緒に行動する仲間を増やす事の大切さを私自身も実感することができました。

最初は「男性と女性の協力や話し合いが大切」など夫婦個別の問題と捉えていた学生も、最後には「社会や職場の改善を求めて声を出す勇氣が必要」「社会の風潮を変えるためにも、学生が問題意識を持って仲間を増やす事が大事」と発言するなど、社会や制度の問題と運動といった視点への変化が印象的でした。

毎年3回開催している千葉民医連奨学生ミーティング。次回は3月に開催予定です！



← 食事交流会も盛り上がりました！

みんなでまとめを作って最後は記念撮影♪ →